

管内報道機関との定例懇談会（5月）

日時：令和8年5月12日（火）13時30分

場所：久慈地区合同庁舎4階第1会議室

次 第

- 1 開会
- 2 説明事項
- 3 懇談
- 4 閉会

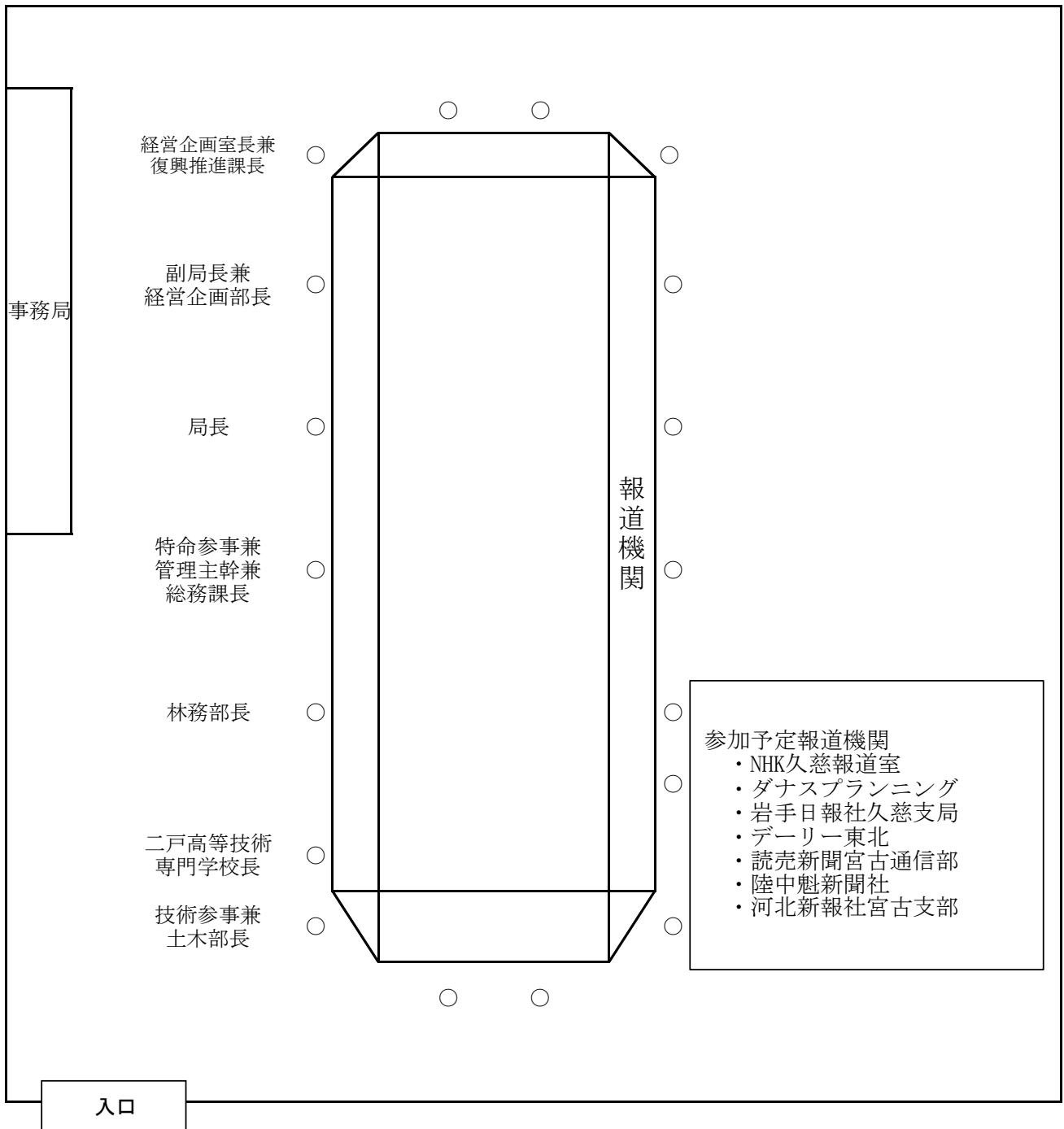
（進行：副局長兼経営企画部長）

※ 次回の開催予定

日時：令和8年6月4日（木）13時30分

場所：久慈地区合同庁舎4階第1会議室

座席表



管内報道機関との定例懇談会（5月）資料

【説明事項】

	項目	担当部	ポイント	ページ
1	東京大学大気海洋研究所長の管内訪問について	経営企画部	国内唯一の大気・海洋研究拠点である東京大学大気海洋研究所の兵藤晋（ひょうどうすすむ）所長が、北三陸の海域をフィールドにしたギンザケ養殖や海洋環境研究の最前線を視察しますのでお知らせします。	4
2	第46回久慈地区乾しいたけ品評会褒賞授与式の開催について	林務部	久慈地区における乾しいたけ生産者の生産技術の向上や生産意欲の増進等を図ることを目的に、第46回久慈地区乾しいたけ品評会を開催しますのでお知らせします。	5
3	令和7年度修了生の資格取得状況について	二戸高等技術専門学校	この春修了した本校修了生の資格取得状況を取りまとめましたのでお知らせします。	6～7
4	「津波防災教育講座」の開催について	土木部	県北地域の子供たちの津波に対する知識と防災力の向上、東日本大震災津波の事実・教訓の伝承を目的に、今年度も津波防災教育講座を実施しますのでお知らせします。	8～9

【懇談内容】

○ 県北局における人口減少対策 ―若者女性に選ばれる地域づくりに向けて、課題を可視化し共に考えます！―

【その他配付資料】

○ 月間行事予定表（令和8年5月～6月前半）

説明項目 1	東京大学大気海洋研究所長の管内訪問について ～海洋研究の第一人者が北三陸を初訪問～ <p style="text-align: right;">（経営企画部）</p>
--------	---

【概要】

国内唯一の大気・海洋研究拠点である東京大学大気海洋研究所の兵藤晋（ひょうどうすすむ）所長が、北三陸の海域をフィールドにしたギンザケ養殖や海洋環境研究の最前線を視察します。令和7年に設立された「三陸ふるさと社会協創センター」を核に、産学官が連携し、研究成果の地域還元を目指す現場を報道機関向けに公開します。

- 1 日時 令和8年5月29日（金） 8時30分から12時30分まで
- 2 場所 ①久慈漁港、②久慈地区合同庁舎、③久慈地下水族科学館「もぐらんぴあ」
- 3 主催 県北広域振興局経営企画部・水産部
- 4 対象 報道機関各社
- 5 内容 海洋研究の第一人者が北三陸を初訪問

－「三陸沿岸×東大最先端研究」地域協創の現場を公開

対応時間	内容	ねらい	備考
8:30～9:30	①ギンザケ養殖視察	共同研究テーマ等の探索	
10:00～11:00	②職員向け講演会	大学連携の理解促進	頭撮りのみ
11:30～12:30	③もぐらんぴあ視察	研究の出口としての活用	

- 6 取材申込期限 令和8年5月26日（火）17時

注目ポイント① 国内トップ研究者北三陸へー所長自ら県北訪問

- ・ 国内唯一の大気海洋研究所のトップ研究者が、県北エリアを初訪問
- ・ 大気海洋研究所の所長自ら現場を直接訪れ、意見交換を行うのは県北では初

注目ポイント② 「研究のための研究」から、「地域のための研究」へ

- ・ 三陸沿岸を世界有数の海洋研究フィールドと位置づけ
- ・ ギンザケ養殖、海洋生態系、震災後の環境変化など暮らしや産業に直結する研究テーマを発掘

注目ポイント③ 三陸発の政策提言・産業創出を目指す新拠点が本格稼働

- ・ 「三陸ふるさと社会協創センター」（R7.9 設立、大槌町）の活動の一環
- ・ 新たに創設した研究委託制度を活用し、地域課題解決型の共同研究を展開

注目ポイント④ 海・養殖・研究者の絵になる現場を公開

- ・ ギンザケ養殖の現場視察で屋外・臨場感ある映像
- ・ 「もぐらんぴあ」で研究成果の説明に熱心に耳を傾ける海洋研究の第一人者

担当：経営企画部特命参事兼管理主幹兼総務課長 阿部
 電話：0194-53-4981 内線 202

説明項目 2

第46回久慈地区乾しいたけ品評会褒賞授与式の開催について

(林務部)

【概要】

久慈地区における乾しいたけ生産者の生産技術の向上や生産意欲の増進等を図ることを目的に、第46回久慈地区乾しいたけ品評会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

つきましては、褒賞授与式を令和8年6月5日(金)に開催しますので取材いただきますようお願いいたします。

1 品評会の日程

(1) 出品物展示

日 時：令和8年6月5日(金) 9時30分～16時00分

会 場：久慈地区合同庁舎6階 第4会議室

(2) 褒賞授与式

日 時：令和8年6月5日(金) 10時30分～11時30分

会 場：久慈地区合同庁舎6階 大会議室



第45回品評会の様子(R7.6.6)

2 品評会の概要

(1) 主 催 久慈地方林業振興協議会(会長：久慈市長)

(2) 対 象 久慈市、洋野町、野田村及び普代村の乾しいたけ生産者

(3) 出品物の種類

傘の模様や大きさなどにより選別・出品される5部門



天白どんこ



茶花どんこ



どんこ



こうこ



こうしん

(R7 県品評会最優秀賞)

(4) 審 査 6月1日に審査会(非公開)を実施

(5) 賞区分 優秀賞5点以内、優良賞12点以内、奨励賞27点以内

3 昨年度の出品状況

5部門 計62点

(天白どんこ：3点、茶花どんこ：33点、どんこ：16点、こうこ：6点、こうしん：4点)

【参考】令和7年度岩手県乾しいたけ品評会の当管内生産者入賞実績

(管内46点出品(全県92点出品))

最優秀賞：1点(こうしんの部門(全5部門))

優秀賞7点(全15点)、優良賞10点(全15点)の計18点(全35点)

担当：林務部林業振興課長兼上席林業普及指導員 廣田
電話：0194-53-4984 内線226

説明項目 3	令和7年度修了生の資格取得状況 (二級自動車整備士登録試験・技能証の交付) (二戸高等技術専門学校)
--------	--

【概要】

この春修了した本校修了生の資格取得状況をとりまとめましたのでお知らせします。

1 自動車システム科関係

○ 二級自動車整備士登録試験「学科試験」で全員が全種類合格！

自動車整備技能登録試験「学科試験」において、本校の令和7年度修了生9名全員が3種類の二級自動車整備士試験全てに合格しました。

この修了生は、4月から新社会人として自動車ディーラーなどで働いており、今後は、「一級自動車整備士」などの資格の取得を目指すこととなります。

(1) 試験日等

ア 期 日：令和8年3月22日(日)

イ 主催・場所：一般社団法人岩手県自動車整備振興会(矢巾町)

ウ 合格発表：令和8年4月7日(火)

(2) 試験の種類

「二級自動車整備士」は、次の3種類です。

- 二級ガソリン自動車：ガソリン自動車に関して一通りの整備(足回りやエンジンの分解整備など三級整備士では行えない業務)を行うことが可能。
- 二級ジーゼル自動車：ジーゼル自動車に関して一通りの整備(足回りやエンジンの分解整備など三級整備士では行えない業務)を行うことが可能。
- 二級自動車シャシ：自動車のシャシ部分(自動車のボディやエンジンを除いた箇所)の一般的な整備(足回りの分解整備など三級整備士では行えない業務)を行うことが可能。

(3) 受験合格状況

(単位：人、%)

種 類	本校受験者数	本校合格者数	本校合格率	全国合格率
二級ガソリン	9	9	100.0	92.0
二級ジーゼル	9	9	100.0	94.9
二級シャシ	9	9	100.0	93.1
計	27	27	-	-
平均	-	-	100.0	93.3

(全国合格率出典：(一社)日本自動車整備振興会連合会HPより)

※ 本校修了生の合格率は、全国平均を6.7ポイント上回っています。

(4) 推移等

全員が3種類の全てに合格したのは、令和6年度に続き11回目。

(5) 資格取得

本校自動車システム科修了により、国土交通省の技能検定実技試験が免除されます。

また、当該登録試験合格により学科試験が免除され、国土交通省への申請により「自動車整備士」の資格を取得することができます。

2 建築科関係

○ 2級建築大工技能士を全員が取得!

受験合格状況

(単位：人、%)

種 類	学生数	技能五輪 技能証被交付者数	技能照査 合格者	取得率
2級建築大工技能士	5	5	5	100.0

※1 技能五輪予選で一定基準以上の成績を収めると、技能証が交付され、実技試験が免除されます。

※2 在学中に技能照査に合格した場合には技能士補資格が得られ、学科試験が免除されます。

3 在校生の状況

自動車システム科在校生14名（1年10名、2年4名）、建築科在校生8名（1年7名、2年1名）は、これら先輩の後を継ぐべく、資格取得を目指して、学科・実習に取り組んでいます。

担当	県立二戸高等技術専門校 校長 千葉文彦、校長補佐 山崎達也 電話：0195-23-2227
----	---

説明項目 4	「津波防災教育講座」を開催します！ ～県北地域の防災力向上を目指して～ （土木部）
--------	--

【概要】

県北広域振興局では、県北地域の子供たちの津波に対する知識と防災力の向上、東日本震災津波の事実・教訓の伝承を目的に、防災教育の一環として津波防災教育講座（施設見学等）を継続的に実施しています。今年度は受講希望のあった9校を対象に開催する予定です。

1 開催日等

番号	月日	施設見学/出前授業	学 校 名	人数（予定）	時間
1	5/19	見学(久慈港防潮堤)	洋野町立中野中学校	1・2・3年生 30名	9:30～ 10:20
2	5/20	出前授業	久慈市立久慈中学校	1年生 134名	10:50～ 11:40
3	5/22	見学(久慈港防潮堤)	県立久慈拓陽支援学校	1年生 6名	10:00～ 10:50
4	5/29	見学(久慈港防潮堤)	久慈市立久慈湊小学校	5年生 23名	10:50～ 11:40
5	6/9	出前授業	野田村立野田中学校	1年生 35名	13:45～ 14:45
6	8/21	見学（川尻水門）	洋野町立種市小学校	4年生 25名	(調整中)
7	9/9	出前授業	県立久慈翔北高等学校	1年生 110名	(調整中)
8	9/16	見学（野田水門）	県立久慈翔北高等学校	1・2・3年生 50名	(調整中)
9	9/29	見学（川尻水門）	洋野町立角浜小学校	4年生 4名	(調整中)

2 対象

久慈管内4市町村の小学校、中学校及び高等学校

3 目的

津波防災施設の見学や出前授業を通して、震災当時の被災状況、津波時の防潮堤の効果と限界、水門等の遠隔操作の仕組みについて学んでいただき、震災の事実・教訓を伝承するとともに津波防災の知識を深め、防災力の向上を図ります。

4 内容

施設見学については、土木部職員等によるパネルを使用した津波防災の概要説明、水門操作室及び陸閘等の施設見学を行います。

出前授業については、依頼先の学校において、土木部職員が津波防災の概要を説明します。

なお、令和5年度から土木部職員に加えて、主に岩手県の土木技術職員の退職者により構成される「いわて河川ボランティアクラブ」の協力を得て実施しています。

5 その他

取材については、各校への確認が必要ですので、事前に担当まで御連絡願います。

津波防災教育講座は、平成15年から開催しており、令和7年度までに185回開催、参加人数は令和5年度に累計10,000人を超え、11,056人となっています。

[参考] 写真は令和7年度の様子



出前授業（久慈翔北高等学校）



パネルを使用した説明（川尻川水門）



津波防災施設（野田水門）見学



久慈港陸閘手動操作体

担当：土木部河川港湾課長 根城
電話：0194-53-9689 内線 471

県北局における人口減少対策

— 若者・女性に選ばれる地域づくりに向けて、課題を可視化し共に考えます！ —

県北地域では、人口減少が全国平均を上回るスピードで進行しており、特に進学・就職期の若者や女性の転出が大きな課題となっています。

その要因の一つとして、地域や職場に根付く慣習・意識も影響している可能性があり、人口減少対策の取組を進める上で、まずはその「見えにくい課題」を整理・共有する必要があると考えました。

このため、県北局では、若手・女性職員が中心となって、地域の若者・女性とともに課題を見つけ、考え、地域のリーダーや企業の経営層と共有するプロセスを進めていきます。

■ STEP1 若手・女性職員が中心のプロジェクトを発足 【令和8年3月】

部局横断で若手・女性職員を中心とした「人口減少対策プロジェクトチーム」を立ち上げました。特に若者・女性の立場に近い職員の視点から課題を見つけることを狙っています。

<ワーキンググループ>

Team アース【大地】（農林水産業等の一次産業）

Team リーフ【葉】（建設業等の二次産業）

Team ミモザ【花】（若者女性活躍）

■ STEP2 現場の“違和感”を言葉にする作業 【令和8年6月～令和9年2月】

プロジェクトチームでは、農林水産業や建設業など分野別に、有識者をファシリテーターとする若手・女性従業員向けのセミナーやワークショップを開催しながら、若者や女性の声を集めていきます。

- ☞ 職場や地域で感じる働きにくさ
- ☞ 当たり前とされてきた慣習や役割分担
- ☞ 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）

こうした見えにくい課題を可視化するとともに、改善策を検討していきます。

■ STEP3 次は「地域全体で考える場」へ 【令和9年3月上旬】

セミナーやワークショップを通じて見えてきた課題や声・改善策を、地域のリーダーや企業の経営層と共有し、ともに考える「北いわてトップリーダーズ・アクションフォーラム」を開催予定です。

〔開催イメージ〕

- ・ アンコンシャス・バイアスやジェンダーギャップがもたらす地域への影響等に関する基調講演
- ・ 若者や女性たちがワークショップで可視化した課題や、検討した改善方策の発表
- ・ 若者・女性に選ばれる地域となるため、地域のリーダー等と若者・女性が共に考えるためのパネルディスカッション

答えを提示する場ではなく、「何が起きているのか」「どう向き合うべきか」を共有する出発点と位置付け、更なる人口減少対策につなげていきます。

※ セミナーやワークショップ、「北いわてトップリーダーズ・アクションフォーラム」につきましては、随時、プレスリリースしていきます。

令和8年5月

行事予定表

日	曜	行事	場所	会場	県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
5/9 ～ 5/23	土 ～	宇津宮功展	久慈市	十文字チキンアンバーホール (久慈市文化会館)		久慈市教育委員会文化課	52-2700
13	水	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
18	月	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
19	火	津波出前講座	久慈市	久慈港		土木部河川港湾課	66-9689
23	土	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
24	日	津島山山開き	久慈市	津島山		久慈市山形総合支所産業建設課	72-2111
24	日	鶴島神社例大祭	普代村	鶴島神社		鶴島神社社務所	35-2399
24	日	塩の道を歩こう会(春)	野田村	野田村(道の駅のだ)～久慈市(新山 根温泉 べっぴんの湯)		塩の道を歩こう会実行委員会	78-4171
25	月	令和8年度「木の仕事」体験講座(林業機械等操 作体験)	久慈市	(有)マルヒ製材ほか	○	林務部林業振興課	53-4984
28	木	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
30	土	久慈平岳山開き	洋野町	久慈平岳山頂広場		ひろのイベント事業実行委員会	77-2111
30	土	久慈平岳山春の登山会	洋野町	アグリパークおおさわ、久慈平岳		アグリパークおおさわ	66-2662
31	日	ペアレン×野田村ビアフェスト	野田村	野田村役場前広場		株式会社ペアレン醸造所	(メールアドレス) chokuhan@baeren.beer

令和8年6月前半

日	曜	行事	場所	会場	県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
3	水	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
5	金	第46回久慈地区乾しいたけ品評会褒章授与式	久慈市	久慈地区合同庁舎6階大会議室	◎	林務部林業振興課	53-4984
8	月	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
13	土	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123

◎局長出席 ☆副局長出席 ○部室長等出席

※1 イベント等について、天候等の影響で中止となる場合がございますので、随時開催状況を確認くださいますようお願いいたします。

※2 県出席者について、諸般の事業により変更となる場合がありますので、随時確認くださいますようお願いいたします。